

社団法人私立大学情報教育協会

平成30年度 第2回産学連携推進プロジェクト委員会議事概要

I. 日 時：平成30年9月12（木）1500～1700

II. 場 所：アルカディア市ヶ谷 私学会館

III. 参加者：向殿委員長、大原副委員長、辻村委員、井上委員、酒井委員、青木委員、歌代委員、
松本委員、田辺委員、斎藤アドバイザー、白崎アドバイザー、吉永アドバイザー、宮脇アドバイザー、
中塚アドバイザー、板垣アドバイザー、井端事務局長、森下、中村

IV. 資 料

- ① 平成30年度の産学連携推進事業の推進について
- ② 平成30年度 「社会スタディ」の開催要項（案）
- ③ 平成30年度 「社会スタディ」申込書のイメージ
- ④ 平成30年度「産学連携人材ニーズ交流会」の開催方針（メモ）
- ⑤ スマート社会に求められる人材（産学連携による教育イノベーション）
伊藤忠テクノソリューションズ 野村氏（発表資料）

V. 検討内容

1. 平成30年度の産学連携推進事業の推進について

資料①で平成30年度の事業の実施スケジュールを報告し確認した。

2. 平成30年度 「社会スタディ」の開催要項（案）について

第2回委員会の検討を踏まえて、作成した平成30年度 「社会スタディ」の開催要項（案）について事務局から以下のように報告が行われた。

(1) 有識者の候補について

- ① 企業のスタートアップ経験者では、第一候補の 森川 亮 氏に要請したが、業務の都合で辞退され、第2候補の鎌田 富久 氏に協力をいただくことになった。
- ② AI、ビッグデータなどに関する有識者は、第1候補の永井 浩史 氏の協力が得られた。
- ③ イノベーションに関する有識者では、第1候補の石戸 奈々子氏に協力要請したが、海外出張と重なり無理となったことから、大原先生に情報提供をお願いすることにした。

以上の結果を踏まえて、資料② 平成30年度 「社会スタディ」の開催要項（案）を作成した。

(2) 平成30年度 「社会スタディ」の開催要項（案）について

資料②の開催要項（案）について、内容を検討した結果、以下の修正を行った。

- ① デジタル技術という表現と ICT という表現が混在しているため、ICTに統一することにした。
- ② 前回の委員会では、大学の就職担当、就活支援企業に参加者募集の協力を要請することになっていたが、本事業の目的は「発展的な学び」であり「就職活動」ではないため、就職担当、就活支援企業には協力要請しないことにした。
- ③ プログラムに閉会挨拶、閉会を入れ、終了時間を17:20とした。
- ④ プログラムの進め方、報告書の提出、「修了証」、「ネット参加証」、「優秀証」の発行について、会場参加者とネット参加者を区分し分かりやすい表現になるよう修正した。

会場参加者

- ① 各有識者から40分程度の説明と15分程度の質疑応答・意見交換を行います。
- ② 気づきの整理と発展の時間に3名程度で「ICTを活用して社会的課題を解決する未来に向けた学びの取り組み」について、他大学の学生とグループ討議していただきます。
- ③ 会場参加者は、社会スタディ終了後に学びの成果物を各自作成し、2月末までにメールで報告していただきます。(A4-1枚以内)
- ④ 会場参加者から報告された成果物は本協会でも審査した上で3月末に「修了証」をメールでお送りします。なお、「優秀証」については、所属大学に報告するとともに本協会のWebで紹介します。

ネット参加者

- ① ネット参加者には、1月末に送付するURLで「有識者からの情報提供、質疑・意見交換」を視聴していただきますが、配信内容の録画・録音は禁止です。なお、「気づきの整理と発展」は視聴できません。
- ② ネット参加者は、終了後に「ICTを活用して社会的課題を解決する未来に向けた学びの取り組み」の成果物を作成し、2月末までにメールで報告していただきます。(A4-1枚以内)
- ③ ネット参加者の成果物は本協会でも審査した上で3月末に「ネット参加証」をメールでお送りします。

- ⑤ 開催内容の公開についての表現に、「収録禁止」を明記し表現を以下のように修正した。

10. 会場撮影・公開について

ネット配信を行いますので、個人を特定できないよう背面・遠景から撮影します。質疑等の際は大学名や個人名を出さずに発言して下さい。なお、「グループ討議」の様子は公開しません。また、参加者側でのネット配信の収録は固く禁じますので協力下さい。

(4) 「社会スタディ」参加申込書(案)について

資料③の申込書のイメージとしたが、個人情報に配慮して、住所、電話番号の欄は作らないことにした。このため、会場参加者の「修了証」、ネット参加者の「ネット参加証」はメールで送ることにした。なお、「優秀証」については、紙媒体で所属大学に報告するとともに本協会のWebで紹介することにした。

(5) 「社会スタディ」募集案内について

以上の修正を行った平成30年度「社会スタディ」の開催要項を10月第2週を目途に本協会の加盟大学及び非加盟の国・公・私立大学に発送し参加者を募集することにした。

3. 平成30年度「産学連携人材ニーズ交流会」の開催方針について

資料④平成30年度「産学連携人材ニーズ交流会」の開催方針(メモ)により、本年度の開催方針を検討した。

(1) 前年度の振り返り

- ・ 私情協・大学側の情報提供の一方通行で産業界との意見交流が見られない。
- ・ テーマを最新の話題を踏まえた大学教育の変革を促す内容としていることから大学側の共感を得られているが産業界からの積極的な意見が見られない。

- ・ 要因として、産業界の参加が賛助会員に実質限定されていること、AI、IOT、ビッグデータ等を活用するユーザー側の産業界が参加していない。
- ・ 人材育成に対する産業界の期待や要望を反映させるプログラムになっていない。

(2) 今年度の開催に向けた検討

前年度の振り返りを踏まえて以下を検討した。

- ① 参加者を賛助企業以外に拡大する方策として経団連、企業、大学と連携して日本の成長戦略を推進に求められる人材育成の支援活動を行っている「特定非営利活動法人 CeFIL」との連携及び協力を得ることを検討することにし、CeFILに関係の深い大原副委員長に協力いただく。
- ② 産業界の参加を拡大するため、経団連、日本商工会議所、経済同友会などに開催趣旨を案内し、参加者募集の協力をお願いすることにした。(会員企業へのメール等で参加募集を案内し)
- ③ AI、IOT、ビッグデータを戦略として活用するユーザーの人材育成に対する期待や要望を反映させるプログラムを検討する。

(3) 今年度の開催方針

ここ数年は大学側の教育改革の取組み紹介が中心であったが、今年度は産業界から、人材育成の課題、要望、提案を聞き、産学で考える場とする。そのため、以下のように検討する。

- ① 教育改革 ICT 戦略大会で提案した「産学連携による教育イノベーションの提案」について、伊藤忠テクノソリューションズから提案し意見交換する。
- ② 特定非営利活動法人 CeFIL の産学連携による人材育成について、内容を確認し、プログラムに入れる。
- ③ 本協会情報教育研究委員会で検討を進めている「構想力・問題解決力を目指す分野横断型 PBL 授業の提案」「を行ない、具体策と可能性について検討を行うとともに AI 時代に求められる人材のイメージについて参加者と共有する。

(4) 検討結果と今後の進め方

本日検討の方針に基き、特定非営利活動法人 CeFIL との連携を検討、産学連携人材育成について良い提案があれば講演を依頼する。また CeFIL 会員企業 30 社に産学連携人材ニーズ交流会への参加を呼びかける。

伊藤忠テクノソリューションズ(株)野村氏に「産学連携による教育イノベーションの提案」について講演を要請する。

上記について取組み、詳細を第 3 回委員会 (11 月) に報告する。その結果を踏まえて開催要項を決定し、12 月に開催案内を発送、1 月～参加者募集には入れるよう進めることにした。

4. 平成 30 年度「大学教員の企業現場研修」の開催方針について

各企業で開催日程、開催概要の検討をすすめていただき、次回委員会で概要を報告することにした。

5. 次回の日程について

今回は平成 30 年 11 月 15 日 (木) 15 : 00～17 : 00 とした。

※ その後、事情により「平成 30 年 11 月 12 日 (月) 10 : 00～12 : 00」に変更